

2 事業の概要（29度の特筆すべき事業等）

（1）学園全体に関する事項（法人本部関係）

ア) 創立140周年記念事業の推進について ※平成30(2018)年度
平成25年度末の理事会・評議員会で承認を得た「創立140周年記念事業」の推進については、ハード面の整備はほぼ終了いたしました。

<事業計画概要>

1. 建学の精神を基にした教育の推進
2. 各学校の教育内容の充実
3. 募集活動の充実
4. 浄土真宗本願寺派佐賀教区との連携強化
5. 耐震工事を含む教育環境の整備
 - ①幼稚園遊戯場(ホール)の改築(H26.3完成)
 - ②短期大学設備(トイレ等)改修工事(H26~28完成)
 - ③サッカーグラウンドの建設(H27.5完成)
 - ④高等学校(東校舎)の改築(H28.3完成)及び南校舎解体
 - ⑤短期大学校舎改装工事(H29以降予定)

イ) 創立140周年記念事業寄付金募集について

上記の教育環境整備を実現するため平成27年度より本学園関係各位に対して寄付金を依頼するための同事業寄付金推進委員会を設置し、依頼内容・方法等の検討を行い、依頼状等の発送・配布を行い、募集活動を展開しました。

※140周年記念事業・寄付金の報告・・・別紙

ウ) 各種規程の見直し

(目的・計画) 各諸規程を現状に即し一部変更・改定いたします。

(進捗状況等) 平成18年度に新たな例規集を発行し、その後も変更・改定のあった諸規程については、毎年加除整理しています。

エ) 教職員の職場環境改善・資質向上

教職員の職場環境を少しでも良くするため、28年度からストレスチェック診断を開始しました。

29年度からマイカー通勤に関する規程を整備し、リスク管理を徹底しました。

オ) 教職員の資質向上

(目的・計画) 人事考課制度を導入し、教職員の資質向上を目指します。

(進捗状況等) 教職員の資質向上の一環として、27年度から「自己評価」を開始しました。

さらに、人事考課制度導入のため、コンサルタント会社の研修会等に参加し、学園全体の人事考課のあり方について検討中です。

短期大学の教員部門では「教員業績評価規定」「教員業績評価実施要項」を策定し、資質向上に勤めています。

また、こども園では国の補助金制度を活用し、専門リーダー・若手リーダーのキャリアアップ研修に積極的に参加し、処遇改善に活かしています。

高等学校教員と事務職員の人事考課制度導入を導入し、資質向上を目指さなくてはなりません。

(2) 短期大学部門に関する事項

ア) 中長期計画の策定

(目的・計画) 短期大学の継続的な運営を行うため、経営改善計画（中長期計画）を策定し、更に補助金獲得もめざす。

(進捗状況等) 29年度前半に経営改善計画（中長期計画）を策定し、補助金獲得に活かす予定でありましたが、学園全体での改善計画や財務計画等を策定しなければならない部分もあり、年度内で計画を策定することが出来ませんでした。30年度前半までには策定予定です。

イ) プラットホーム事業への参加

(目的・計画) 平成29年度に私学事業団の補助事業として募集された「私立大学等改革総合支援事業（タイプ5）」プラットフォーム形成事業に申請し、採択されました。本事業は、長崎・佐賀・福岡3県の私立大学・短大14校と国公立大学3校で構成する「九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム」と称し、参加大学等の特色化・資源集中を促し、大学間の連携、地方公共団体・産業界との連携を進めることにより、大学改革の推進を支援するものです。

(進捗状況等) 九州西部地区の活気と魅力ある地域社会の創出を目指し、教育研究目標を達成するために、「大学教育の質向上対応」、「地域活性化のための人材育成対応」、「地域ニーズ対応」の3つを柱として事業を進めています。

その事業を推進する為に、私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金（文科省補助金）を活用して、講堂の大型スクリーン設置やコンピュータ演習室のパソコン入れ替え等を行い、地域の人たちが活用出来るようにしました。

ウ) 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）への参加

(目的・計画) 佐賀大学を中心に展開されている「地(知)の拠点として地域の雇用創出や学生の地元定着率の向上に関する計画」に参画し、地域を担う人材育成計画を実現するための教育改革を実行しています。27年度から5ヵ年をかけて地元就職率の向上に努める事業に取り組んでおり、今年で3年目となりました。

(進捗状況等) ハローワークや県内の情報サイト、大手の求人情報サイトからの情報収集ができる就職支援対策室の環境を整備しました。これにより、学生が地元企業等各学科の専門性を活かした就職先からの求人情報収集を行なうことが容易になり、学生がこれまで以上に情報提供を受けることが出来るようになりました。

また、県内のゲストティーチャーを招聘してアクティブラーニング方式の講義を実施するなど、地元就職率の向上に取り組んでいます。

エ) 大学間連携共同教育推進事業（大学コンソーシアム佐賀）への参加

（目的・計画）文科省「大学間連携共同教育推進事業」に参加し、地域教育の向上に貢献します。24年度から「発達障がいのある幼児への支援事業」に取り組んでいます

（進捗状況等）平成24年度より「文部科学省大学間連携共同教育推進事業 大学間発達障がい支援ネットワークの構築と幼保専門職業人の養成事業」に取り組んでいます。

平成28年度で文科省の財政支援は終了しましたが、県内の5大学が連携し、学生に発達障がいのある幼児の指導が出来る「子ども発達支援士」としての専門性の取得をおこない、本学卒業生が、保育・教育現場にて活躍する基盤を作りました。

また、地域の子ども並びに保護者を対象として支援する療育活動とその拠点（療育教室きらり）を本学内に置き地域貢献を行っています。

オ) 認証評価の実施

（目的・計画）平成16年度から、研究・教育が適切に行われているかをチェックする認証評価制度が開始され、7年ごとに文部科学大臣が認証する評価機関の評価を受けることが法律で義務付けられました。

本学は、平成28年度に大学審査機関(短期大学基準協会)による認証評価を受けました。

（進捗状況等）平成28年度に短期大学基準協会による認証評価をうけ、適格であるとの判断を受けました。

平成29年度も、次回の認証評価に向け研究・教育の質の向上と改善を目的として自己点検・評価を行い、また、東九州短期大学との相互評価を実施するなど、PDCAサイクルによる自己点検作業を行い毎年改善を進めています。

カ) 就職支援の推進

（目的・計画）20年度から始まった大学教育学生支援推進事業を活用し、学生就職支援の推進と就職率向上を目指しています。

（進捗状況等）27年度からCOC+事業を活用し、次のような活動を行っています。

①27年度より雇用した就職支援コーディネーターを継続雇用し、佐賀大学（COC+大学）やCOC+参加校との連携により、さがを

創る大交流会委員会に参加し学生の就職活動の支援をしています。

- ②就職ガイダンスを行い、就職活動の流れや履歴書の書き方など基本的な教育を実施しています。
- ③進路相談室に学生就職支援を行うためのパソコン2台を設置して有効活用し、求人情報を収集して学生へ情報を提供しています。
- ④アクティブ・ラーニング教室等を活用し、各学科の関連企業等からゲスト講師を招聘し、就職に関する講演会を8回開催しました。
- ⑤就職ガイドブックの配布
昨年更新した就職ガイドブックを、全学生に配布しました。
- ⑥外部専門家による就職関連の個別相談の実施
外部から専門のキャリアカウンセラーを招聘し就職のための相談会を実施しました。また地元のハローワーク鳥栖の協力を得て、学生の個別相談会を実施しました。
- ⑦就職先やインターンシップ先の訪問
地元への就職を向上させる為、就職先やインターンシップ先の訪問を実施し、成果や課題を聴取して改善しました。

◎29年度卒業生の就職・進学状況

		進学就職希望者	就職決定者数	進学者数	就職・進学率
人 コ 学 科	仏教コース	11	0	11	100%
	司書・情報コース	9	6	1	78%
	映像・放送コース	11	11	0	100%
保育学科		49	45	0	92%

①人間コミュニティ学科

主な進学先（龍谷大学1人、相愛大学2名、筑紫女学園大学1人、中央仏教学院8人）

主な就職先（㈱フォーバル、㈱ネットビジョン、エスプロジェクト、佐賀シティビジョン株式会社（ぶんぶんテレビ）等各社、図書館、その他）

②保育学科

主な就職先（幼稚園・こども園15人、保育園26人、施設1人、病院1人、一般企業2人）

キ) 公開講座の開催

(目的・計画) 本学では、専門領域の研究で得た成果を地域社会に還元し、地域貢献するとともに社会人の教養と文化の向上に資するために、公開講座を開講しています。

(進捗状況等) 次のような公開講座を開催しました。

- ①仏教関係 「正信偈を読む」「振風仏教講座」「龍谷仏教講座」
- ②パソコン関係 「スマートフォン講座」「WORD 入門講座」
- ③音楽関係 「楽しい歌唱指導」「歌曲・オペラに挑戦」「仏教讃歌」「ピアノ講座」「合唱の喜び」
- ④美術関係 「絵画教室」
- ⑤子ども対象 「子ども発達講座」「気になる子講座」「英語でうたうこどもの歌」「自然の森で遊ぼう」
- ⑥放送関係 「声優講座」
- ⑦司書関係 「人生を豊かにする読者論」
- ⑧24年度から図書館蔵書検索(OPAC)の公開サービスを行い、地域貢献のひとつとなっています。

ク) 教育基盤設備事業の推進 (学内の教育環境整備)

(目的・計画) 学内の環境整備を行い、教育基盤を整えます。

(進捗状況等) 平成28年度に「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」を活用し学務システム・学修サポートシステムを導入し、平成29年度当初より本格運用を開始しました。

①学生自身の学修の振り返り

学生は、学修サポートシステム上で履修登録から出席状況、学修成果物や成績評価等あらゆる学修情報を確認することが可能となった。さらにインターネットの環境があればいつでもどこでもこのシステムにアクセスすることが可能となり、自宅や外出先からでも自らの学修を振り返ることができ、学生の教育効果を高めることができます。

②学生への学修支援の効率化学修サポートシステムを導入することにより、教職員は学生の学修状況を把握及び共有することが可能となりました。

③蓄積された情報の有効活用

様々なアンケート情報(学修行動調査、学生生活満足度調査、卒業生追跡調査等)などを調査分析し、各委員会や部署においてPDCAサイクルに基づいた改善を実施しております。

④私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金（文科省補助金）
の活用

平成 29 年度は「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」を活用し、パソコン室に最新のパソコン 44 台を導入しました。また、講堂に大型スクリーンと大型プロジェクターを設置しました。今回の補助事業による新型パソコン設備により、基礎的なソフト以外にも映像系の学びが可能となりました。

講堂のプロジェクター設備で大型スクリーンを設置したことで、座席後方からでもパソコン等の資料が見やすい環境が整備されました。

これらはプラットフォーム事業における共同利用施設として設置しており、地域への貢献だけではなく、プラットフォーム事業の加盟校間で開催する大規模なイベント開催も可能となり、他大学の教職員間や学生間の交流、地域との交流事業等にも活用することが可能となりました。

⑤教室の教育環境整備

平成 29 年度は 401 教室に新たにプロジェクターとスクリーンを導入しました。また、視聴覚教室に新たに短焦点型のプロジェクターを設置しました。現在、授業の運用の際に有効に活用しております。

ケ) 学生の生活環境の改善

(目的・計画) 通学時、並びに学外での授業の際や実習の際の交通手段としてのスクールバスの入れ替え。LED 照明の導入

(進捗状況等) ①スクールバスの買換

スクールバス（26 人乗り）が経年劣化により継続使用が困難となりました。このため、平成 29 年 11 月に九州龍谷短期大学同窓会から新車の 29 人乗りスクールバスの寄贈を受けることができました。

これにより、学生の通学時、並びに学外での授業の際や実習時の学生の送迎のため安全安定した運行が可能となりました。

②LED 照明の導入

学生の生活環境の改善と学習環境の向上のため、301 教室と進路相談室のすべてを、また視聴覚室の前方一部に LED 照明の導入いたしました。今後も順次、LED 照明を導入を予定しています。

コ) 保育学科に3年コース(長期履修生)を設置

(目的・計画) 「経済的に自立した大学生活を送りたい」「ゆとりを持って資格を取得したい」「余裕を持って学納金を納めたい」という学生からの多用な要望に対応するため、28年度から保育学科に3年コースを設置しました。

(進捗状況等) 平成28年度から保育学科に3年コース(長期履修生)を設置し今年度初めての3年次生が9人となりました。

なお、平成30年度は12人の入学者がありました。

サ) 外国大学との姉妹校提携

(目的・計画) 国際交流を進める一環として、韓国の釜山女子大学校や中国大連大学等との姉妹校提携を行っています。

(進捗状況等) 平成25年度までに、韓国・中国の6大学との姉妹提携を結んでおり、平成29年度は韓国釜山の釜山女子大学と釜山経商大学へ1年生81名が学外研修に出向き、外国の学生との交流体験をいたしました。

シ) 研究・附属施設の充実

研究・附属施設として「仏教文化研究所」「地域交流センター」「子育てサポートセンター」を設置し、地域における社会貢献支援事業を行っています。

ス) 本学独自の奨学金制度

平成28年度から本学独自の「九州龍谷短期大学奨学金制度」を設置し、平成29年度も成績優秀で他の学生の範となる学生2人に奨学金を給付しました。

セ) 地域との連携

平成28年6月29日に、九州龍谷短期大学と鳥栖市及び鳥栖市教育委員会が地域発展と人材の育成に寄与することを目的とした包括協定を締結しました。本学からは、地域に対し九州龍谷短期大学の教員や学生による教育活動や子育てなどの支援を行うことにしました。

平成29年度も本学から保育・教育の分野で教員の派遣を行い、地域社会に貢献しています。

また、鳥栖市と教育委員会及び地元学校長による外部評価を実施し、本学の教育・研究・地域貢献についての外部評価を受けました。今後、この評価をもとに本学の教育・研究の改善発展に還元し、さらなる地域との連携強化に取り組めます。

(3) 高等学校に関する事項

ア) 建学の精神に関する事業

(目的・計画) 「建学の精神」の理解を生徒並びに教職員が更に深めるため、報恩活動を推進します。

- (進捗状況等) ①毎月行っている「報恩の集い」の開催場所を体育館から講堂(振風館)に変更したことで聴聞しやすい環境を整えました。
- ②「報恩清掃」の時間を設け、学校近隣を清掃することで、奉仕の精神を養うとともに、地域に愛される学校となるよう努めています。
- ③学年毎に毎週1回「朝の参拝」を講堂(振風館)で行い、勤行・法話を通して建学の精神を学びます。
- ④創立記念日(5/21)の祝賀行事(コンサート・講演会等)を実施し、保護者及び一般市民にも学校と建学の精神を発信しています。
- ⑤年に一度の学園報恩講では、本学発祥の地である願正寺に全年で参拝し、建学の精神を学びます。
- ⑥建学の精神の具現化
宗教の授業・報恩の集い・毎朝の礼拝等を通じた心の教育を常時行っています。また、仏教青年部の活動や仏教コースでの専門的講座を開設しています。

イ) 教育活動に関する事業

(目的・計画) 学力向上や進路指導への懇切丁寧な取り組みを強化します。

(進捗状況等) ①E特(特進科エクセレントコース)の設置

28年度から、特進科内にE特クラスを設置し、難関大学進学を目標として、グローバルリーダーシップを身につけた生徒を育成します。(G-PRO)

2年次より理系・文系・グレード別に別れた展開授業を行います。

②理解度アップへの取り組み(全コース)

宿題・小テスト・添削・居残り指導・早朝特課等の指導を行うとともに、授業アンケートや授業公開による反省を行いスキルアップに努めています。26年度からはDプロジェクトを計画し、土曜日に普通科生徒が進路を含めた理解度の向上に繋がります。

③保育コースについて

進学の幅を持たせるため24年度から普通科総合コースに保育コースを設置し、短期大学教員方の協力を得て、カリキュラムの精査を行い、保育士を目指す生徒を育成します。

また、サマーフェスタやオータムフェスタを主催して、同じ敷地内にあるこども園と協力し、実習の一貫としての取り組みとしてイベントを行い、県内の幼稚園や保育園から高い評価を受けています。

④家庭との連携

将来を見据えた進路意識を持ち、家庭内での相互理解が出来る生徒に育つように指導しています。また、進路調査や三者面談、出前授業や進路講演会等を行っています。

また、保護者に向けて携帯電話を活用した「はなまる連絡帳」(メール)や「Facebook」で、より迅速に連絡出来る体制を整えました。

また、平成30年度から「Classi」を活用し、生徒や保護者がパソコン・タブレットやスマートフォンでシラバス(授業計画書)を確認できるようにして、授業や試験に活用できるようにします。

⑤大学・専門学校・就職先などの出口の保証等

模試・インターンシップ等を通して進路の課題確認を行っています。29年度卒業生の大学等合格者数は、佐賀大学等の国公立大学に18人、龍谷大学や早稲田大学等の私立大学に164人、短期大学に29人、専門学校に51人でした。

また就職希望者は32人で就職率は100%でした。

ウ) ICT機器の活用

(目的・計画) これからの国際社会で生き抜くための情報リテラシー習得・向上のために、ICT機器を活用した教育を行います。

(進捗状況等) 電子黒板やタブレット、iPadのICT機器を活用し教育を行っています。

29年度は、普通科総合コース・保育コースではeラーニング教材「すらら」を導入し基礎学力向上に役立てています。

また、文理進学コースでは同じく「Classi」教材を採用し、学力向上をはかっています。さらに、特進コースでは「スタディサプリ」というWeb授業を導入し、授業以外の学習支援を行う体制を整えました。

このように、佐賀県内の私立学校では最もICT教育に取り組んでいます。

また、平成30年度からシラバス(授業計画書)を生徒や保護者がパソコンやスマートフォンで確認できるようにします。

エ) 生徒指導に関する事業

(目的・計画) 生活習慣の確立や教育相談の充実を行います。

(進捗状況等) ①日常生活習慣の徹底

遅刻・欠席・服装・自転車マナー・礼拝・挨拶等の指導を強化しています。

②教育相談の強化

相談室や専門のスクールカウンセラーを配置し、生徒・保護者・教員(担任等)がカウンセリングを受けることにより、生徒の状況把握の共通認識に努め、問題の解決にあたっています。

教育相談室では、教室へ入ることが出来ない生徒にも授業を行い、自分のクラスに戻れる支援や卒業(単位取得)出来るよう指導しています。

オ) 教職員の資質向上に関する事業

(目的・計画) 教員の質の向上及びモラル向上の取り組みを強化します。

(進捗状況等) ①授業研究週間の設定

先生や保護者への公開授業を行い、アンケートを実施し、反省点や課題の確認を行っています。

②各種研修会の実施

教育・人権同和・食育等の多様な職員研修会を実施しています。また、県内や九州地区の研修会へも積極的に参加しています。

③評価アンケートの実施

生徒による授業アンケート(7月実施)、保護者による学校教育診断評価アンケート(12月実施)、教員自身による自己評価アンケート(3月実施)を実施し、今後の改善に活かしています。

カ) 生徒募集活動に関する事業

(目的・計画) 生徒減少期における生徒募集活動の強化を図ります。

(進捗状況等) ①募集プロジェクトチームの一新

29年度新入生が激減したことから、募集チームの一新を行い、

募集強化の方策を再検討し、研修等を重ねております。
説明会ではiPad等の導入並びに会場での配布資料の工夫、ホームページ等の改善を行いました。
また、コンサルタント会社と提携し、中学校と共に31年度以降の生徒確保を目指します。

②特典の拡充

特別奨学生制度の他に、兄弟姉妹や遠距離通学生への特典を設けています。また、本願寺派寺院からの推薦制度を継続して行っています。更に30年度入学生募集に当たっては、サッカー部や吹奏楽部等、本校の目玉である部活を中心に勧誘を強化し、一定の成果をあげました。

③入試制度の改革等

受験生増加を図るため、受験生にとって分かり易いパンフレット、募集要項の作成に努めました。

④龍谷模試の実施

25年秋に近隣中学生を対象とした「龍谷模試」を初めて実施し、多くの中学生が腕試しに受験し、毎年成果をあげています。
また、試験結果を本人宛に連絡し、懇切丁寧な対応をしています。

⑤プロサッカーチーム サガン鳥栖U-18との提携

サガン鳥栖と提携を結び、U-18所属の生徒は龍谷高等学校に進学することになり、安定した生徒の確保に繋がります。

キ) 部活動に関する事業

(目的・計画) 学校活性化のために部活動の奨励を行います。

(進捗状況等) ①文化部の活躍

・吹奏楽部は部員数が大幅に増加したことでレベルアップが図られ、佐賀県吹奏楽大会で代表権を得(金賞)、九州大会でも金賞を受賞しました。また、マーチングフェスティバルでも金賞を受賞しました。

アンサンブルコンテストではサキソフォンチームが金賞を受賞し九州大会へ進むなど、輝かしい成績を収めました。

②体育部の活躍/「法人の概要」5頁～7頁参照

キ) 国際交流に関する事業

(目的・計画) 国際的感覚を養う。

(進捗状況等) これまでの海外研修に加え、今年度は2週間に亘るカナダ語学研修を実施し、11人が参加しました。来年度も継続すると共に、龍谷総合学園のハワイPBAへの研修も計画しています。
また、夏休みを利用したイングリッシュ・キャンプを実施しています。

ク) 施設・設備の充実

(目的・計画) 施設・設備を充実し、教育環境を整えます。

(進捗状況等) ①サッカー部強化に伴う、人工芝専用グラウンドが27年5月に完成いたしました。今後の活躍に期待したいです。

②28年3月末に東校舎耐震化に伴う改築工事が終了し、4階建ての新校舎が完成しました。この工事にあわせ自転車置き場を整備しました。

③29年度は、グラウンド西側に遊歩道が作られたため、防球ネットを設置し歩行者の安全を図りました。

(4) 中学校に関する事項

ア) 建学の精神に関する事業

(目的・計画) 「建学の精神」の理解を生徒並びに教職員が更に深めるため、報恩活動を推進し「深く心を耕す教育」を行います。

- (進捗状況等) ①毎月行う「報恩の集い」は高校生と一緒に講堂(振風館)で聴聞しています。
- ②「報恩清掃」の時間を設け、学校近隣を清掃することにより奉仕の精神を養い、地域に愛される学校となるよう努めています。
- ③毎週1回朝の朝礼を「朝の参拝」として講堂(振風館)で行い、勤行・法話を通して、心の静寂の時間を設けました。
- ④創立記念日(5/21)の祝賀行事(コンサート・講演会等)では、高等学校と合同で体育館で行いました。
- ⑤年に一度の学園報恩講では、本学発祥の地である願正寺に全学年で参拝し、建学の精神を学びます。

イ) 教育活動に関する事業

(目的・計画) 学力向上や懇切丁寧な指導への取り組みを強化し「個性重視の行く届いた教育」を行います。

- (進捗状況等) ①わかる授業への取り組み
宿題・朝テスト・添削・居残り指導・休暇特課等の指導を行った。また、授業アンケートや授業公開による反省とスキルアップを図っています。
- ②家庭との連携
中高一貫の6年間を見据えた進路意識と学習意欲の高揚を図り、学校・学級だよりの発行、学期ごとの三者面談の実施、行事等における保護者との連携強化に努めています。また、保護者に向けて携帯電話を活用した「はなまる連絡帳」(メール)や「Facebook」でより迅速に連絡を行えるようになりました。
- ③体験学習(キャリア教育)の教化(「深く探究させる教育」を行います)
様々な体験学習を実施し、自ら考えるように指導しています。
- ・自然体験活動：集団宿泊体験、校外研修等
 - ・本物を見る・聴く活動：演劇観劇会、音楽鑑賞会、美術鑑賞会等
 - ・食育／テーブルマナー研修等
 - ・将来への夢／職業人講話会、ビジネスマナー講座、職場体験、未来予想図プレゼンテーション等
 - ・文化的・体育的活動／文化発表会、体育大会、ジョギングマラソン大会、百人一首カルタ会、スケッチ大会
 - ・保護者会と連携／親子ふれあいスポーツ大会、豚汁会
 - ・「未来予想図」プレゼンテーションを行っています(3年)。
- ④ICT教育の推進(「高い学力が身につく教育」を行います)
・電子黒板、タブレットを導入し、教育効果を上げています。
・平成30年度からプログラミング教育推進のため、Pepperを導入します。
- ⑤英語教育(国際交流)の強化(「国際化時代に生きる教育」を行います)
・オーストラリア語学研修(3年)、イングリッシュスクエア英
・イングリッシュスクエア英語体験学習(1年、2年)
・English Camp(全学年希望者)
・英語の授業では、ALTとのチームティーチング(TT)や

テレビ会議システムを活用したオーストラリアの学校との国際交流授業などを通して、生きた英語の指導を充実させています。

また、日本人英語教師同士のTTも行い、生徒の学力向上を図っています。

⑥英検、漢検の受験を推進し成果をあげています。

英検では各学年90%以上の生徒が、3年生で3級、2年生で4級、1年生で5級取得を目指します。

英検で2年生の2級（高校卒業程度）取得者を出しました。

ウ) 生徒指導に関する事業

(目的・計画) 生活習慣の確立や教育相談の充実を図ります。

(進捗状況等) ①日常生活習慣の徹底

遅刻・欠席・服装・自転車マナー・礼拝・挨拶等の指導を行い、昼食時の食堂・寮での自学自習指導の充実にあります。

②個人に応じた相談の強化

毎日、学活ノートに一日の気づきや感想を書かせ、担任がコメントしています。また、面接週間を設定し、生徒の状況把握と共通認識に努めています。

③建学の精神の具現化

宗教の授業・報恩の集い・毎朝の礼拝等を通じた心の教育を常時行っています。

④生徒会・学級会活動の強化

毎月1度の生徒集会において、生徒会各係や各学級より報告を出し合い、また、各学級のヒーロー・ヒロインを紹介し、ひとり一人の集団意識の高揚に取り組んでいます。さらに「いじめゼロ宣言」を実行した人を称賛することにも取り組んでいます。

エ) 教職員の資質向上に関する事業

(目的・計画) 教員の質の向上及びモラル向上の取り組みを強化します。

(進捗状況等) ①授業研究週間の設定

先生や保護者への公開授業を行い、アンケートを実施すること反省や課題の確認を行っています。

②各種研修会の実施

教育・人権同和・食育等の多様な職員研修会を実施するとともに、県内や九州地区の研修会へも積極的に参加しています。

オ) 生徒募集活動に関する事業

(目的・計画) 県立・国公立志向の現況における生徒募集活動の強化を図ります。

(進捗状況等) ①プロジェクトチームの編成と募集活動の改革

生徒募集が功を奏していない現状を打開するため、コンサルタント会社と提携し、31年度入学生の倍増を目指します。

②特典の拡充

特別奨学生制度の他に、兄弟姉妹や遠距離通学生への特典を設けました。また、本願寺派寺院からの推薦制度を継続して行っています。さらに、保護者の経済的負担を軽減するため、中高に兄弟姉妹が在籍する場合の授業料減免制度を導入しています。毎年こども園卒園児は60人を超えていることから、こども園卒園児は入学金を減免する制度を30年度から実施します。

③改定入試制度の継続

入学試験を前期・後期の2回で行い、受験機会の拡大を図っており、今後の浸透に期待をします。

④英語教室の開講

30年度から近隣の小学生を対象として英語教室を開講し、募集活動に活かします。

⑤生徒・保護者の満足度の向上

「懇切丁寧な学校No.1」の定着と取り組みに努めています。

(5) こども園に関する事項

ア) 建学の精神に関する事項

①幼保連携型認定こども園への移行3年目

- ・ 幼稚園と保育園では保育料や在園時間等が異なり、当初戸惑いもあったが、教職員と保護者間の理解や認知が徐々に進み、後半は運営がスムーズに行えるようになりました。

②保育・教育面

- ・ 朝のお参りの時間を10時に設定して、子ども達全員が参加出来るようにして意識付けを行っています。
- ・ 29年度から幼稚園指導要領が改正になりましたが、29年度中にカリキュラムの見直しと整理を行い、改正に対応いたしました。
小規模な会議（15分）を積み重ね、日々の保育教育の充実に努めました。

③仏教行事の推進

- ・ 「はなまつり」、「降誕会」、「成道会」、「ねはん会」は、映像や紙芝居パネルシアター・絵本等の教材を活用して子ども達に教えるとともに、各家庭にも通知しています。
- ・ 合同礼拝では僧籍者（法衣を着用した先生）を招き、情動的な雰囲気の中で心の教育・保育を行っています。

イ) 教育活動に関する事業

①「まことの保育」の実践

- ・ 合同礼拝、仏教行事、日々の朝のお参りを丁寧に行いました。また、誕生会を通じて、「いのち」の繋がりを伝えて行きました。

②人間関係の基礎作りとしてのシブリング・ペアリング活動を行いました。

・ シブリング（疑似きょうだいごっこ）

3歳児と5歳児を1年間きょうだいの組を作り、活動を行うことで、3歳児は5歳児を兄姉として慕う心が芽生えました。また、5歳児は自分の弟妹（3歳児）を忍耐強くお世話したり、可愛がったりと他者への思いやりの気持ちが養われました。

・ ペアリング活動

4歳児同士での活動で、ペアを固定しないで、ペアになった園児同士で、人との関わりを深めています。

③龍谷高等学校保育コースとの関わりを通しての、人との関わりを深める。

- ・ 保育コースの生徒との関わりを密にして、人との関わりを基礎作りを行います。
- ・ 高校生との活動

○高校生による「絵本の読み聞かせ」を週2回、朝8時から15分間行っている。

○花いっぱい運動に龍谷高校生と参加し、花を植えました。

（佐賀県立博物館前のフラワーポットに植込む）

芋苗植え＝6月、芋の収穫＝10月（佐賀空港公園側の龍谷体験農園）

サマーフェスタ開催＝8月（龍谷高校体育館）

○電車に乗っての社会体験＝10月

（JR佐賀駅で自分で切符を買い電車に乗り、鳥栖市の短大へ）

○バルーンフェスタ世界大会へ高校生と参加＝11月

○オータムフェスタの開催＝12月（こども園ホール）

○龍谷高校生のこども園誕生会への出し物＝龍谷高校保育部が年間3回実施

④専門教育の推進

- ・九州龍谷短期大学付属園としての特徴として、次の専門教育が教育時間内に受講できます。

幼児体育 リトミック 絵画教室
英語教室 サッカー教室

いずれも、短期大学、高等学校の専門の教員が園児を指導します。

サッカー教室は龍谷高校の人工芝サッカー場で行います。

また、龍谷高校サッカー部が主催するサッカーイベントに参加し、園児のサッカーへの興味が高まっています。

- ・子育て相談・・・園だよりで通知し、園が窓口となり、専門家に繋いでいます。短大から心理カウンセラーが来園し、佐賀市の特別支援等に繋がります。
- ・「気になる子」への対応・・・専門機関（佐賀市や短大の心理学の教員）の助言を受けながら、担任や園の教員が見守り支援します。
- ・看護師からの発信等による健康管理
3人の看護師を雇用し、看護師が毎日在園していることで、怪我や病気等の指示や関わりが適切に行われます。また、教員への研修や指導も行います。

ウ) 安全対策に関する事業

- ・総合遊具の下に、セーフティゾーンの設置を行い、園児の落下時の対策を行いました。
- ・毎月、避難訓練を行っています。
(年間2回、消防署から来て頂き指導を受けている)
- ・環境対策として、水質検査(毎月)、照明検査(年間1回)を行いました。
- ・給食や・おやつでのアレルギー対応をしています。(エピペンの研修も行いました)

エ) 教員の質の向上に関する事業

- 国庫補助の保育士待遇改善事業に積極的に参加し、教職員の待遇改善を行うと共に、研修制度を設置し、積極的に研修活動を行っています。
- ・園外の各研修会への積極的な参加を行っています。
- ・園内研修会の開催・・・終礼時に、日々の報告と翌日の予定を確認しあいます。また、計画的に短期大学の教員による90分の研修会や報告会を行っています。
(毎月1回：教育・保育要領による研修、随時：発達障がいに関する研修)

オ) 子育て支援事業

- ・子育てサロン(毎週火曜日：未就園児対象。次の項目を行っています)
手作り教室(折り紙の先生が指導を行います)
保健衛生指導(本園の看護師が指導を行います)
おむすびを親子で作って食べましょう

カ) 募集活動の強化

- 0歳児、1歳児園児獲得のため、30年度から利用定員を増員を申請し、認可されました。

29年度まで ⇒ 30年度から

3人 ⇒ 9人

1歳児 9人 ⇒ 18人

0歳児と1歳児園児を増員し

2歳児 32人 ⇒ 30人

園児獲得を目指します

3歳児 52人 ⇒ 52人

4歳児 52人 ⇒ 52人

5歳児 52人 ⇒ 52人

合計 204人 ⇒ 213人

- ・入園受付が直接園でできる1号児の確保対策として、子育てサロンやホームページ等での広報活動を行っています。
- ・2号児、3号児に対しては、ホームページの活用と共に、日々の保育・教育を充実し、選ばれる園づくりに努めている。また、在園児保護者からの口コミも重要です。
- ・給食（食育）も大切な要素で有り、より良い給食を検討しています。
⇒完全自園給食への移行（30年度から実施）
- 保育室（0歳児保育室・1歳児保育室）増築
0歳児、1歳児園児の利用定員増員への対応として、29年度中に保育室を増設しました。
- 食育充実のため、30年度から完全自園給食とします。
その一環として、ランチルームを新設しました。

(6) 施設等の状況

①現有施設設備の所在地等の説明

平成30年3月31日現在

所在地	学校名	施設等	面積等㎡	取得価格等(円)	摘要
水ヶ江キャンパス	龍谷中学校 龍谷高等学校	校地	30,019	155,303,666	25筆
		校舎等	16,791	2,649,047,914	13棟
		寮敷地	2,051	4,446,874	佐賀市木原
		サッカー場	20,091	300,000,000	佐賀市江上
	龍谷こども園	校地	2,960	89,576,092	5筆
		園舎等	1,190	395,221,292	5棟
鳥栖キャンパス (鳥栖市村田町)	短期大学	校地	109,280	405,504,682	15筆
		校舎等	8,149	1,202,045,368	3棟
校地合計			164,401	954,831,314	
			26,130	4,246,314,574	

※土地は取得価格、校舎は帳簿価格。

②主な施設設備の取得又は処分計画及び進捗状況

- ・水ヶ江キャンパスに隣接する土地を、平成16年度に773.97㎡を37,617,193円で取得しました。また、平成20年度に584.35㎡を35,548,430円で取得しました。21年度
(ホール・教室2・その他)を105,872,350円で取得しました。
- ・26年度には北川副町江上の土地20,091㎡をサッカーグラウンドとして300,000,000円で取得いたしました。サッカーグラウンドの施設整備は27年度にネットフェンスで囲った人工芝コート及び部室棟・トイレ棟を212,875,474円で整備しました。
- ・27年度に国・県の補助を受け耐震改築事業として766,175,640円で、高等学校東校舎を改築しました。
- ・28年度は、こども園（保育園部）の給食室を約18㎡増築し自園給食の準備をしました。(18,866,200円)
- ・29年度は、こども園（保育園部）の園舎（0歳児、1歳児保育室）を98.29㎡増築し利用定員の増加に対応すると共に、食育教育の一環としてランチルームを設置しました。(31,520,961円)

(7) その他

①当該年度の重要な契約

学校法人の合併又は学校の分離等の契約その他経営に関する重要な契約は有りません。

②係争事件の有無とその経過

特にありません。

③決算日後に生じた学校法人の状況に関する重要な事実

有りません。

④対処すべき課題

少子化に伴い各学校とも人件費比率の割合が高くなり、学園経営や教育活動に影響を及ぼすことが懸念されます。

また、平成30年の創立140周年記念事業後の計画を策定・実行し、募集活動を強化して経営基盤をより強くするとともに、地域に貢献し愛される学園作りを目指しています。